

## 2023年3月期 上期決算説明会

---

2022年11月21日

アルテリア・ネットワークス株式会社

# 免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、経営戦略などは、過去の事実を除いて将来の予測であり、本資料の公表時点において入手可能な情報に基づいて作成をしております。

また、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外の経済情勢、業界の動向、他社との提携等、人材の確保、技術革新、その他経営環境等の要因により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なる場合がございます。

当社は、本資料の情報の利用により生じたいかなる損害に関し、一切責任を負うものではありません。また、当社は、本資料に掲載された将来の見通しに関する記述等についてアップデートする義務を負うものではありません。

# 2023年3月期 上期決算報告

# 2023年3月期上期業績ハイライト

- 既存継続事業を中心に業績は順調に推移
- 2023年3月期上期の主要サービス(※)別の販売状況は、クラウド利用の拡大やテレワークの普及による新たな高速通信や、セキュリティの高いネットワークサービスなどへの需要を取り込み、前年同期比で7.0%成長を達成
- 特別調査委員会設置に伴う一時費用が発生したが、2023年3月期の業績予想は中計の財務目標から変更なし
- 設備投資増加により減価償却費は増加するものの、前期に実施した構造改革により他のネットワークコストの増加を抑制する。前期発生 of データセンター譲渡益ならびに今期の特別調査委員会に関する一時費用を調整した定常ベースの営業利益は拡大傾向

※ インターネット、ネットワーク、マンションインターネット、DXサービスを指す

# 財務ハイライト

- 前期上期にデータセンター譲渡益を計上した反動で前年同期比で増収減益

【単位：億円】

	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	増減額	増減率
売上高	266	288	+22	+8.1%
営業利益	51	42	△9	△17.2%
税引前利益	49	40	△9	△18.8%
四半期利益	34	28	△6	△17.5%
親会社帰属 当期利益	32	26	△6	△19.3%

# 連結業績予想

- 売上高の進捗率は約50%、各段階利益は43%前後で推移
- 通期業績予想は変更なし

【単位：億円】

	2023年3月期 (予想)	2023年3月期 上期実績	進捗率
売上高	580	288	49.6%
主要サービス 売上高	483	235	48.9%
営業利益	97	42	43.4%
税引前利益	93	40	43.1%
当期利益	64	28	43.5%
親会社帰属 当期利益	61	26	42.9%

# 2023年3月期上期業績について

- 主要サービス(※1) については、前年同期比7.0%増
- 今期成約した受注案件による月額請求売上が下期売上に貢献することや、前期の構造改革によるネットワークコスト抑制により、期首の通期業績予想は据え置き
- 営業利益の内、調査諸費用(※2) は約3億円で、一時損益調整後の営業利益は前年同期比で約6億円増

【単位：億円】

	2021年3月期 上期 (実績)	2022年3月期 上期 (実績)	2023年3月期 上期 (実績)
売上高	259	266	288
主要サービス売上高	208	220	235
主要サービス売上成長率	3.3%	5.5%	7.0%
営業利益	42	51	42
データセンター譲渡益		▲12	
調査諸費用			+3
調整後営業利益	42	39	45
調整後営業利益率	16.1%	14.5%	15.6%

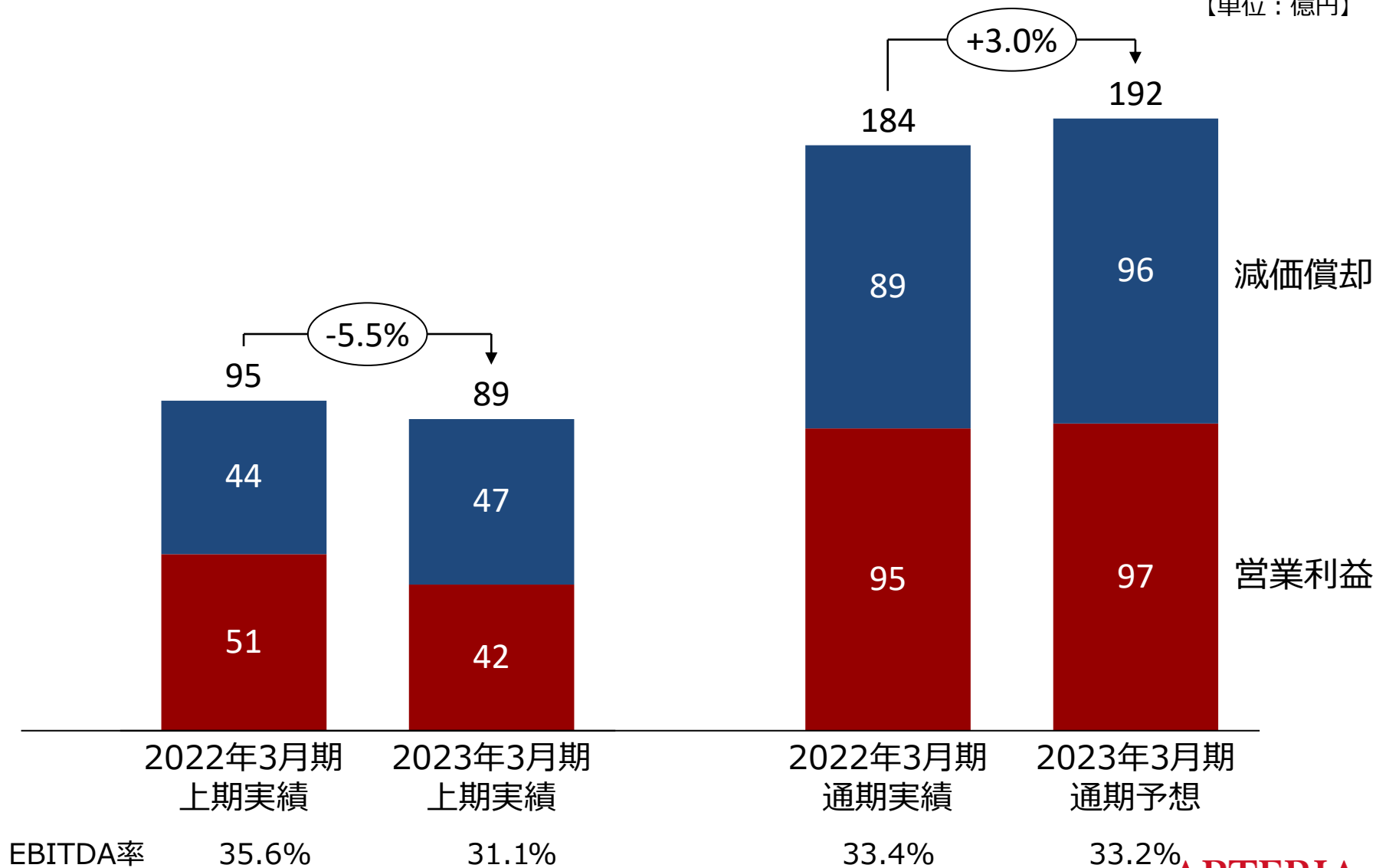
※1 インターネット、ネットワーク、マンションインターネット、DXサービスを指す

※2 2022年6月13日付にてお知らせしました特別調査委員会設置に伴い発生しました調査諸費用となります

# EBITDA

➤ 2023年3月期上期のEBITDAは5.5%減の89億円、通期ベースで192億円と予想

【単位：億円】

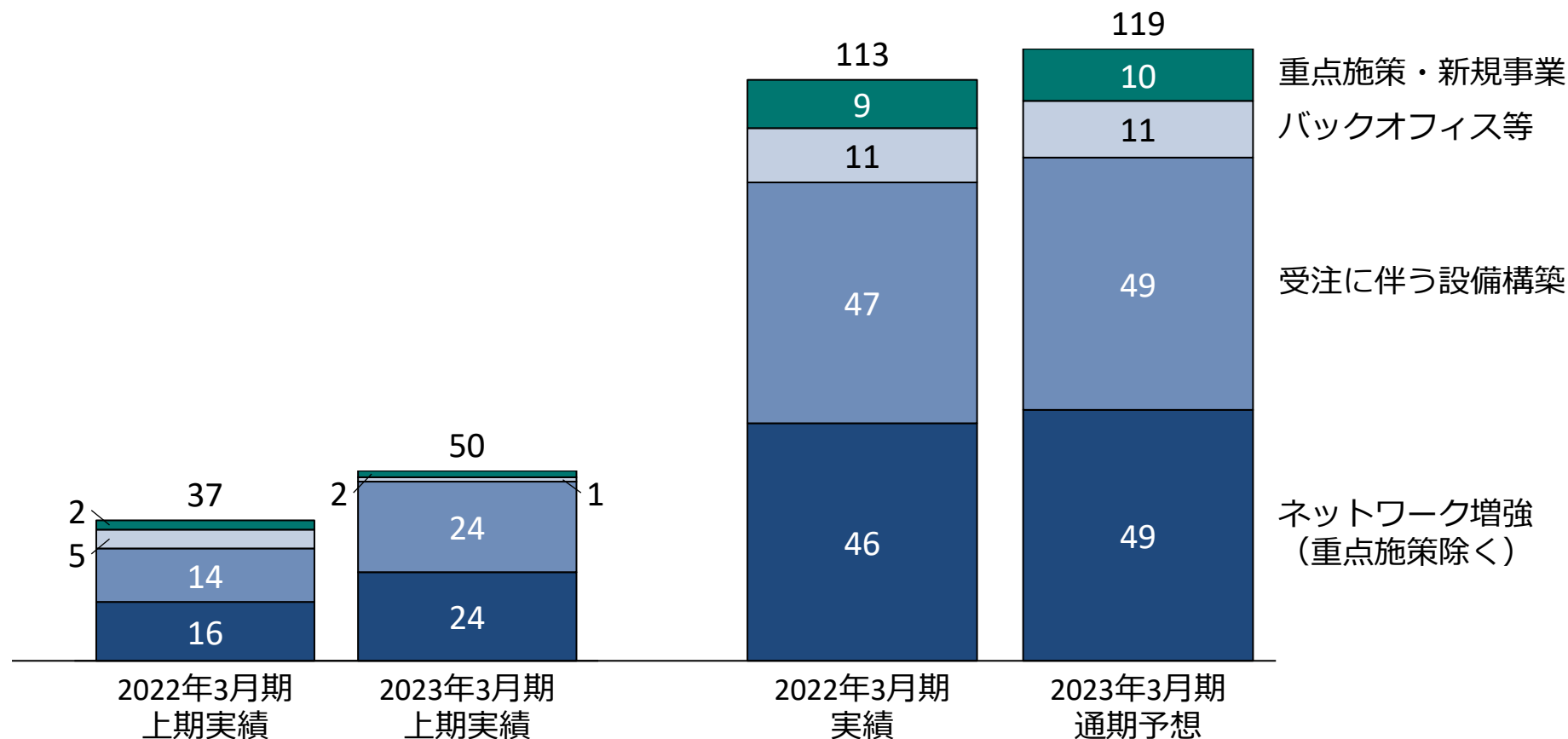




# 設備投資

- 2023年3月期上期の設備投資は、主に受注に伴う設備構築やネットワーク増強により50億円（前年同期比+13億円）で着地
- 下期の設備投資は、69億円を見込む

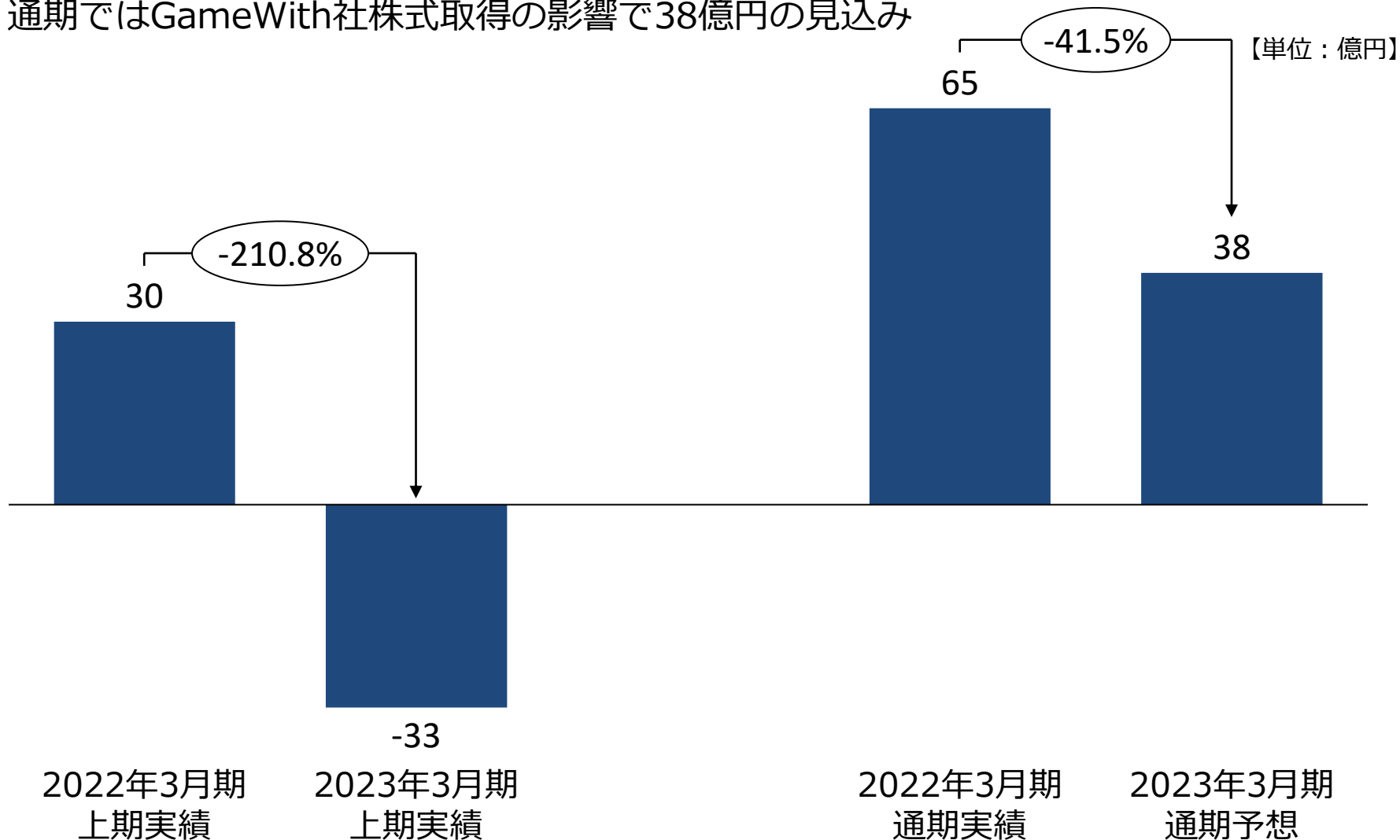
【単位：億円】



※IFRS16号適用ならびに貯蔵品のIFRS組み換えに伴う資産増加は除外しております

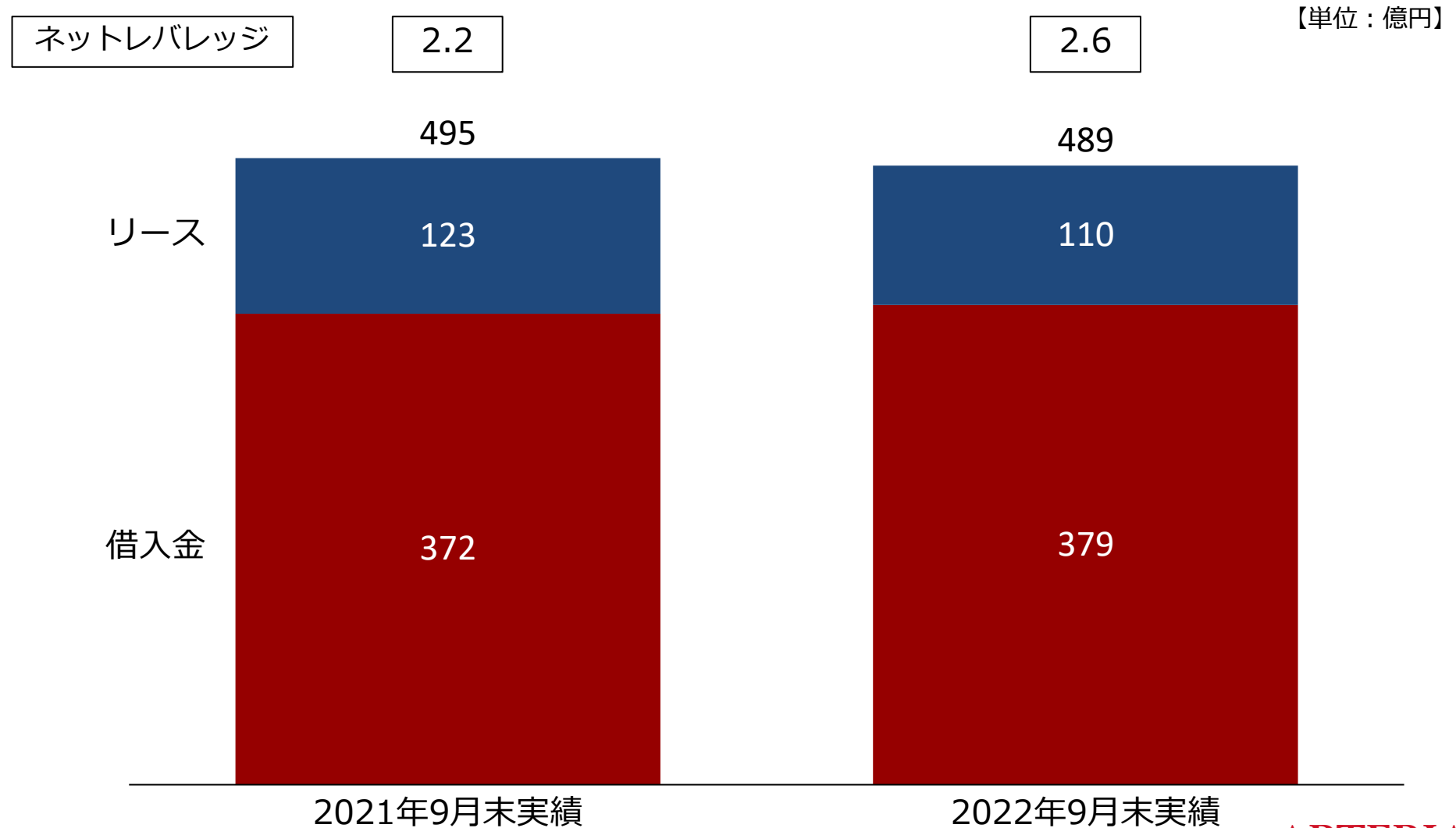
# フリーキャッシュフロー

- 前上期はデータセンター譲渡収入があり30億円程度を確保できたものの、今期はGameWith社株式取得や法人税支払増の影響を受け△33億円で着地
- 通期ではGameWith社株式取得の影響で38億円の見込み



# キャピタルストラクチャー

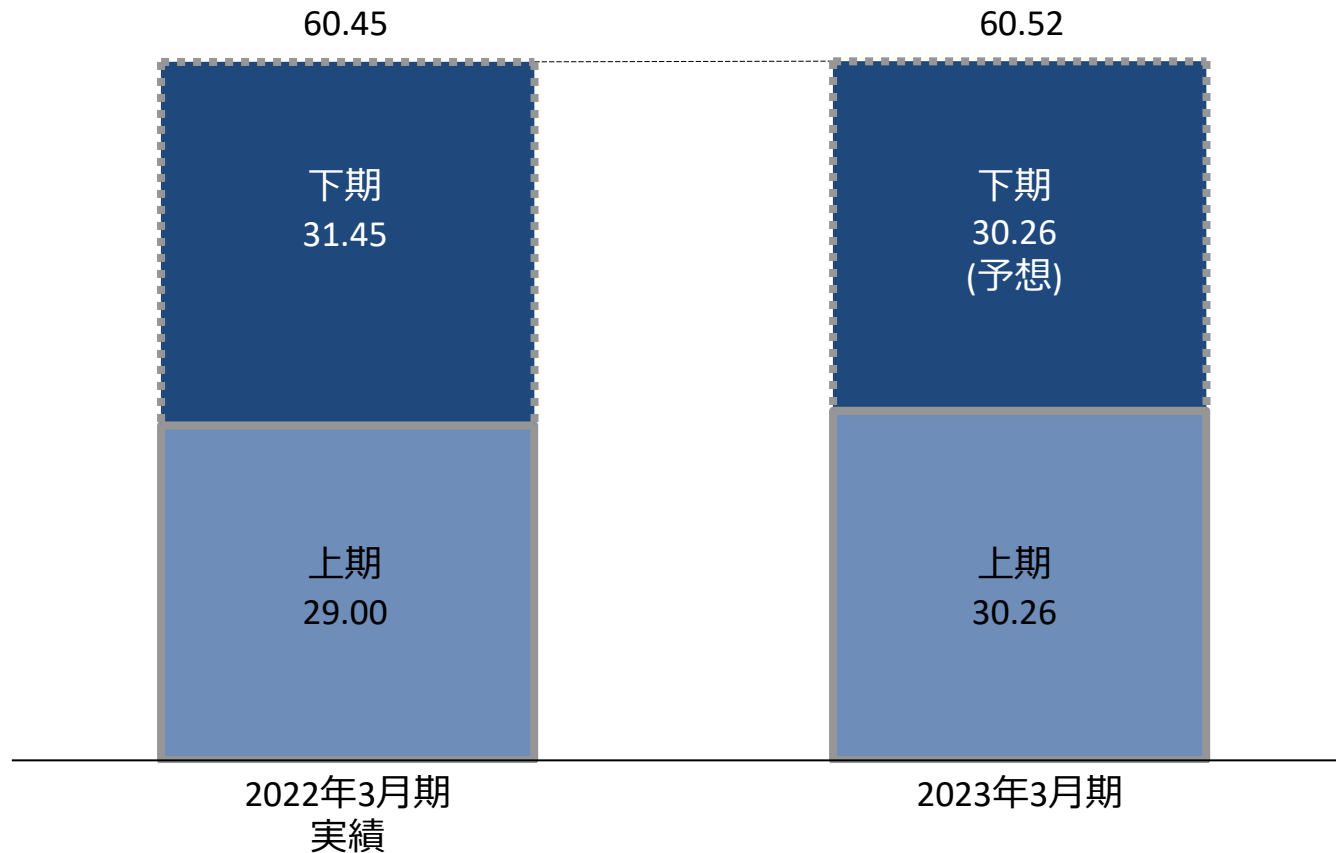
➤ 有利子負債残高は微減



# 配当政策について

- 今期の配当は、期首配当予想額を下限として年2回の実施を予定
- 上期配当額は期首予想どおり、一株30.26円
- 配当性向50%を維持

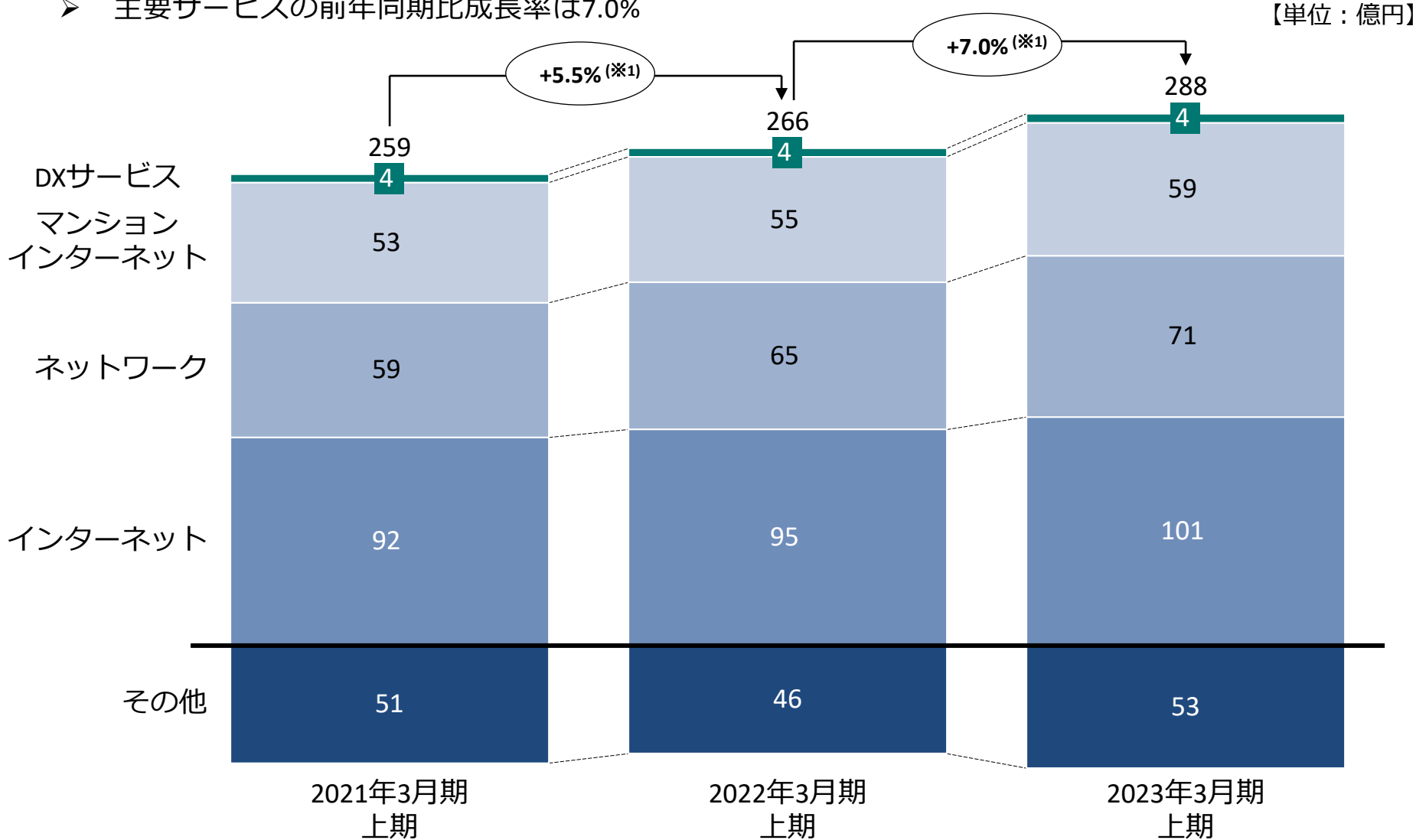
一株当たり配当額：円



# 分野別 実績・見通し、及び成長戦略

# 事業分野別の成果

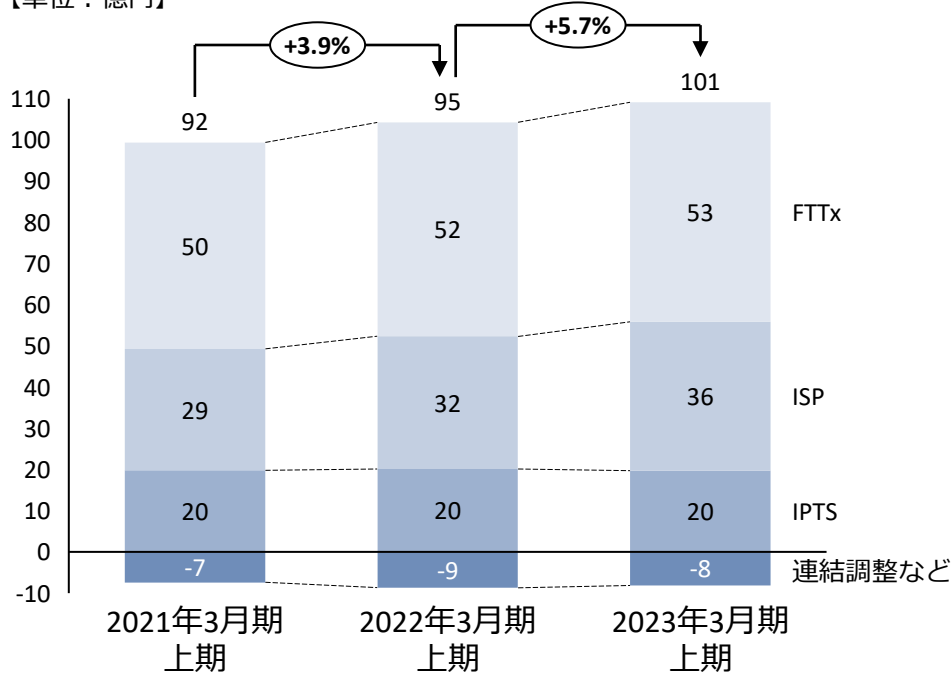
- クラウド利用の拡大やテレワーク普及を背景とした需要継続の中で販売活動が順調に進み、主要サービスの売上が伸長
- 主要サービスの前年同期比成長率は7.0%



※1 主要サービス（その他を除く）の売上における成長率

# 売上：インターネットサービス

【単位：億円】



## FTTx

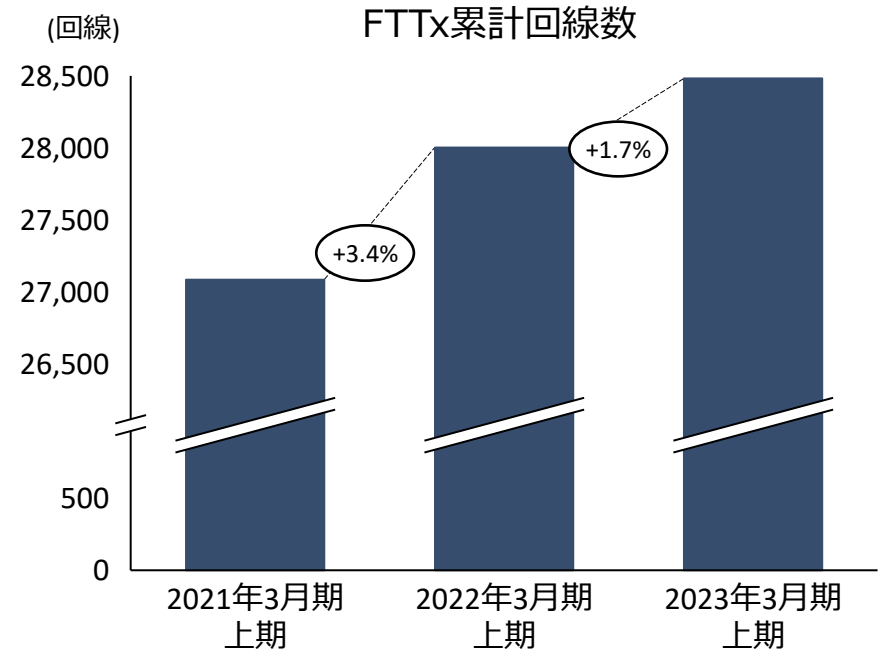
- クラウド利用の拡大やテレワークの普及が進んでおり、FTTx (注) 網のエリア拡大を実行中

## ISP

- 高品質なサービス需要が増大しており、クロスパス(注) の提供が拡大

## IPTS

- クラウドPBX(注) 事業者からの需要は引き続き拡大
- 着信アクセスチャージビジネス(注) については撤退・縮小を決定

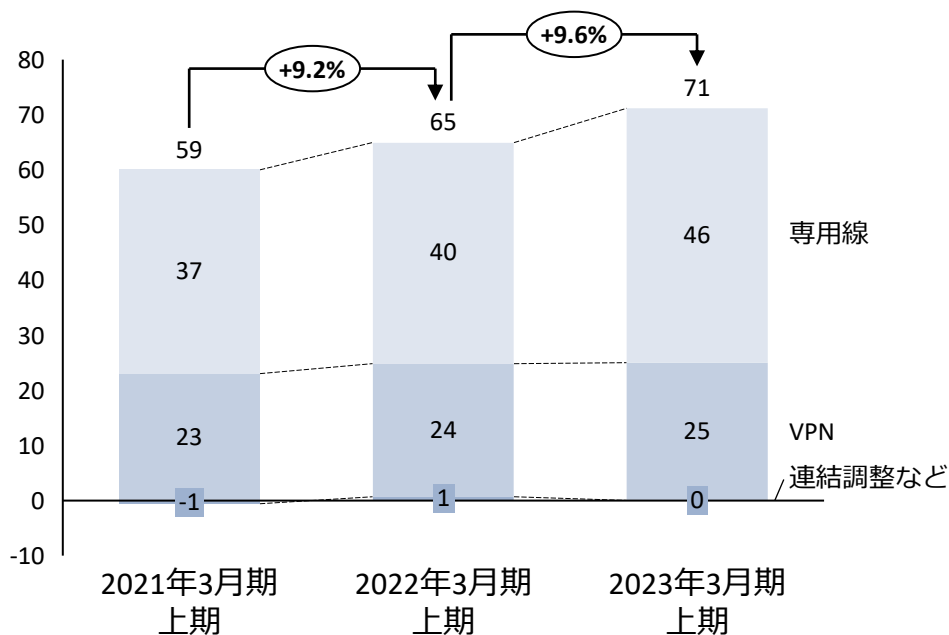


	FY20 H1	FY21 H1	FY22 H1
累計回線数	27,084	28,003	28,484

累計回線数の伸びは緩やかになったものの広帯域サービスの需要が高まり、回線あたりの単価は上昇  
提供エリアの拡大を進めることで来期以降は累計回線数の伸びも上昇していく見通し

# 売上：ネットワークサービス

【単位：億円】



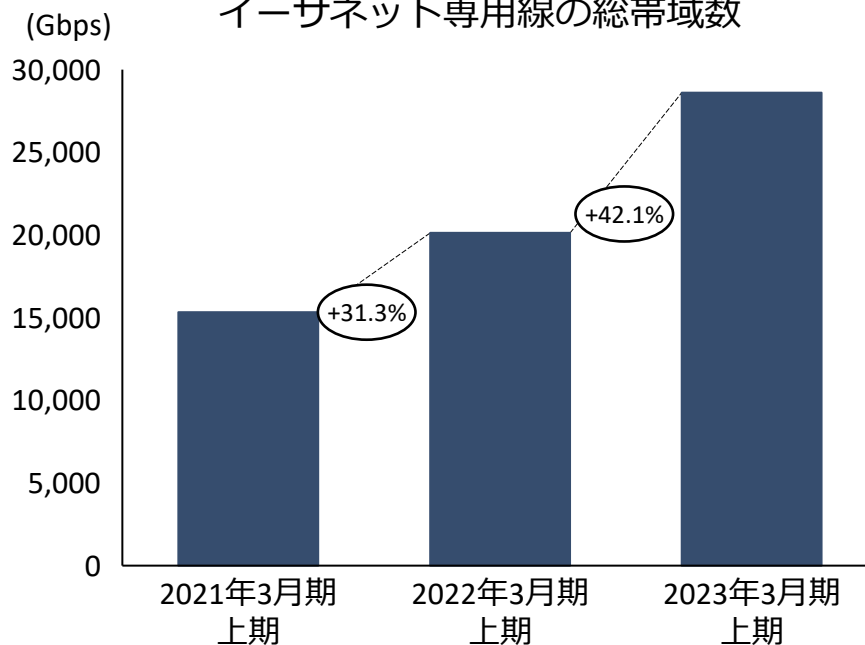
## 専用線

- DXを推進している一般企業やその他OTT(注)、通信事業者による信頼性・品質・セキュリティが高い回線サービスの需要の拡大を背景に売上が増加
- 東名阪やデータセンター集積地など需要の多いエリアにおいてネットワーク増強を継続的に実行中

## VPN

- クラウドサービスやモバイルデバイスの利用が拡大する中で、クラウド接続サービス、自社回線の高品質サービス、モバイルアクセスサービスなどの売上が増加

## イーサネット専用線の総帯域数



	FY20 H1	FY21 H1	FY22 H1
総帯域数(※1) (Gbps)	15,333	20,124	28,602

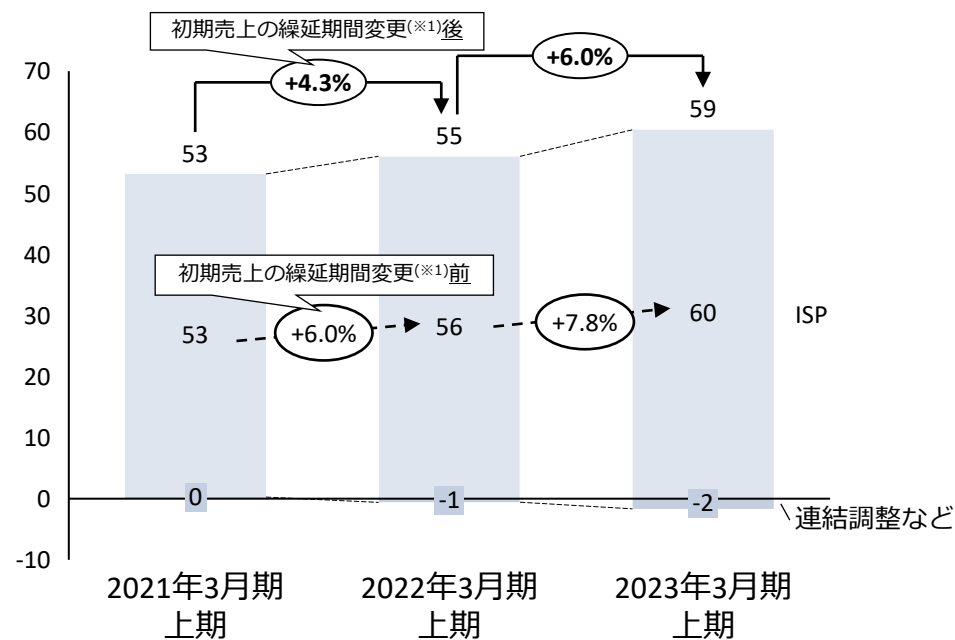
通信事業者や公共機関などで広帯域回線の導入が進み、2023年3月期上期の成長率は前年同期比約42.1%と大きく成長

※1 総帯域数 = 契約帯域 × 本数



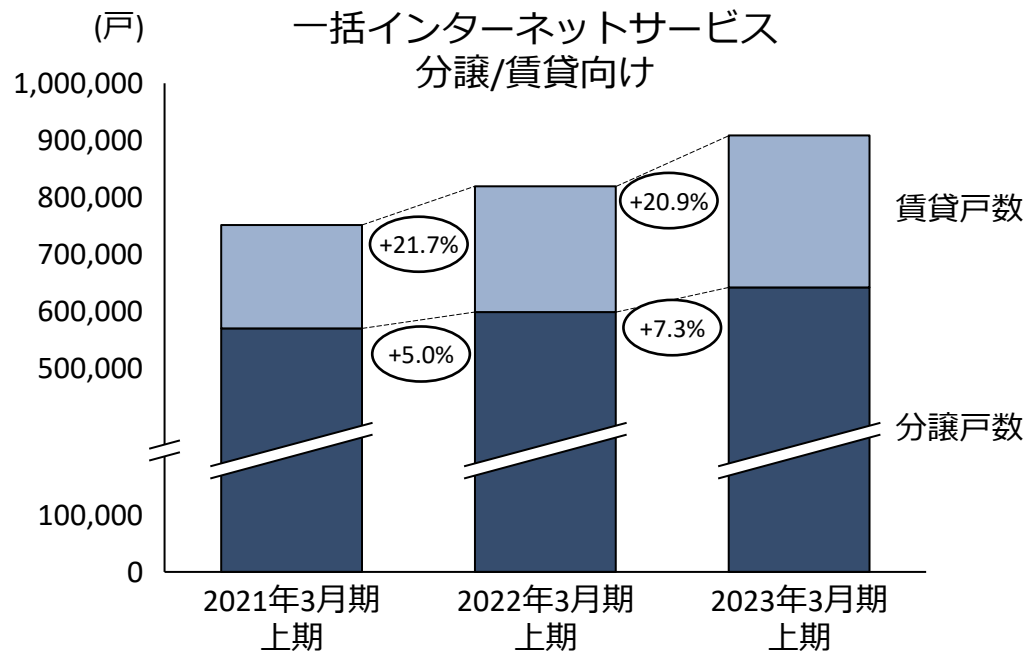
# 売上：マンションインターネットサービス

【単位：億円】



## マンションインターネット

- 分譲・賃貸ともに順調に課金戸数が増加しており売上も増加
- 在宅勤務や動画配信サービスの普及などにより高品質サービスの需要が増加
- ますます需要増が見込まれる高品質サービスに対応するべく、住戸内まで光ファイバーを敷設する最大10Gbpsの新サービスを投入



	FY20 H1	FY21 H1	FY22 H1
賃貸課金戸数	181,509	220,898	267,124
分譲課金戸数	568,963	597,635	641,070

分譲は大手、中小のデベロッパーからの安定した受注を堅持、かつ都心部大規模物件や再開発物件を受注し順調に成長

賃貸も中規模物件を主に提携先の管理会社やデベロッパーからの受注が順調に積み上がっており、継続して高い成長率を維持

※1 2021年4月からの日本基準における収益認識基準を指す

# 中期経営計画上の施策進捗

## 1. 基盤事業の成長

- 需要の高い東名阪エリアの専用線リングの増築とFTTx設備の最新化・エリア拡大を実行
- NFV<sup>(注)</sup> サービス「VANILA (バニラ)」<sup>(注)</sup> のサービスラインアップを拡充し、受注増加
- 北極海を經由してアジアと欧州を結ぶ光ファイバー海底ケーブル敷設プロジェクト実現に向けて合併会社Far North Fiber, Inc.を10/3に設立
- 日経コンピュータ 2022年9月1日号 顧客満足度調査 2022-2023 ネットワークサービス部門で1位を受賞
- グループ会社つなぐネットコミュニケーションズで全戸一括型マンションISPシェア調査9年連続第1位<sup>(※1)</sup> 獲得

## 2. 新たな成長ポートフォリオの取り込み

- D2Cサービス提供のプラットフォームとなる「Portas」<sup>(注)</sup> の提供をQ1より開始
- 日本最大級のゲーム攻略サイトを運営するGameWith社と資本業務提携を実施しグループ会社化
- D2C向け通信サービスは「Connectix」<sup>(注)</sup> に次ぐ第二弾としてeスポーツ向け高品位ISP「GameWith光」の販売を開始

## 3. 働き方改革・SDGs対応を通じて地球に貢献する経営を推進

- サステナビリティ活動を全社で推進。FY21からの取り組み実績をコーポレートサイトにて公表
- サテライトオフィスの整備完了。生産性の最大化を目指し本社のリニューアル工事を開始

※1 MM総研「全戸一括型マンションISPシェア調査（2022年3月末）」に基づくもので、アルテリア・ネットワークスとの事業統合以前も含まれています。事業統合後は5年連続となります。

# 新たな成長ポートフォリオの取り込み (DXサービスの進捗)

- 通信サービスの開発・展開に加え、GameWith社と資本業務提携を行い非通信系サービスへの進出を本格化

## FY22下期以降の取り組み

### 通信サービス

eスポーツ向けの高品位ISP



マンションISPでの優先通信サービス



- FY22/Q4には「GameWith光」のラインアップを拡充予定。さらなる売上高成長を目指す
- 「Connectix」はマンション一括インターネットサービスの標準装備となり、提供棟を拡大

### プラットフォーム

サービスプラットフォーム



- 既存サービスサイト(※1)の統合を進め、ユーザーの利便性を向上。会員数の拡大を図る
- FY22/Q4より他社サービスの販売も開始予定

### 非通信サービス

eスポーツ市場にGameWith社と共同参入



- eスポーツやNFT(注)ゲームなどの領域で事業拡大を図る

※1 当社グループにて運営するマンション一括インターネットサービスの会員向けサイトやECサイトを指す

# Appendix

# 用語集

FTTx	Fiber To The Home の略。各家庭まで光ファイバケーブルを敷設することにより、数十 Mbps～最大数 Gbps 程度の超高速インターネットアクセスを提供する サービス。家庭用のみならず、オフィス向けのサービスにおいてもFTTxと呼ばれることがある。
クロスパス	NTT東日本、NTT西日本のフレッツに対応した定額制インターネット接続サービス。NTT東西の光コラボレーション事業者の回線にも対応。
クラウドPBX	PBX（構内交換機）をクラウド上に構築し、インターネット上で通話・通信を提供するサービス。
着信アクセスチャージビジネス	着信用電話番号の付与にあたり、当該番号への着信量に応じた手数料（インセンティブ）を支払うことを約する取引。
OTT	Over The TOP の略。インターネット上でコンテンツサービスを提供する事業者。
NFV	仮想技術等を用いてネットワーク機能を抽象化することで、物理的な制約なく柔軟な機能提供を可能にする技術。
VANILA	NFV技術を活用したNetwork as a Service (NaaS)。NaaSはルータやファイアウォール等のネットワーク機器をクラウド上で構築し利用できるサービス。
Portas	アルテリア・ネットワークスが運営する総合プラットフォーム。アルテリアグループの各種サービスを提供。
Connectix	SD-WAN技術を活用して、仮想ネットワーク上でマンション内の住戸毎に通信品質をコントロールできる有料のオプションサービス。SD-WANは回線スピードの変換やセキュリティ、認証機能等をソフトウェアで提供することにより、開通時間の短縮や構成・機能の変更を行い易くした SDN (Software Defined Network) の適用範囲を LAN (Local Area Network) から WAN に拡張したもの。
NFT	Non-fungible token（非代替トークン）の略。特定のデジタルアート・音楽・映像などその形で存在する唯一のもの。

# 費用内訳

2022年3月期  
上期

2023年3月期  
上期

【単位：百万円】

<b>売上原価</b>	18,132	19,560
通信費	5,754	5,940
業務委託費	2,741	2,798
人件費	1,383	1,625
減価償却費	3,568	3,940
その他	4,688	5,257
<b>販売費及び一般管理費</b>	4,515	5,045
人件費	2,048	2,149
減価償却費	714	723
支払手数料	492	849
アウトソーシング	548	578
販売手数料	215	218
その他	499	527

つながる地球に、新しい鼓動を。

ARTERIA

本資料に含まれる全てのコンテンツの著作権およびその他の権利は当社または当社に権利を許諾した権利者に帰属します。  
当社または権利者の許諾を得ず、本資料を複製・転用・目的外利用することは固く禁じます。